

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	令和4年度
------	--------	------	-------

【 目 次 】

I. 履行確認・評価

1.	維持管理業務	1
	(1) 清掃		
	(2) 保守・点検		
	(3) 保安・警備		
	(4) 小規模修繕		
	(5) 備品購入		
	(6) 防犯・防災対策		
	(7) 料金徴収業務		
2.	運營業務	5
	(1) 利用実績		
	1) 利用者数等（又は入居率等）		
	2) 施設稼働率		
	3) 教室・イベント等参加者数		
	(2) 運営企画		
	(3) 受付・接客		
	(4) 広報		
	(5) 情報管理		
3.	自主事業	7

II. サービスの質の確認・評価

..... 9

III. 財務状況の確認・評価

..... 11

1.	事業収支		
	(1) 収入		
	(2) 支出		
2.	経営分析指標		

IV. 総合評価

..... 13

1.	目標		
2.	評価結果		

附表 経営状況分析シート

..... 14

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称		対象年度	令和4年度
指定管理者	沖縄空手振興推進パートナーズ (構成企業:OTS MICE MANAGEMENT(株)、沖縄ビル管理(株)、(有)西原農園、(株)セイカスポーツセンター) 指定期間:令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)	所管課	文化観光スポーツ部 空手振興課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
(日常清掃) 通常清掃の他に、職員による巡回清掃を実施する。	○	○	業務委託による2名体制で実施。 ・設置全てのトイレ・シャワー室、道場棟の床面、廊下、倉庫を毎日掃除。 ・その他、職員による塵芥等の除去、モップ拭き上げ、敷地内の巡回清掃などを毎日実施。 ・道場施設、展示施設、特別道場は催事開催前後に清掃を実施する。	道場施設、展示施設、駐車場、園路の清掃状況を確認するとともに、委託契約書、清掃業務の報告書、指定管理者へのヒアリング等を実施。 日常清掃は、業務委託及び職員により毎日清掃が行われており、各施設は清潔に保たれている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好に実施されている。コロナ禍による施設稼働率の変動に対応しながら、引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。
(定期清掃)		○	①年1回実施。 ・フローリング床面、座席(武道棟及び展示等全体)。 ・磁器タイル、琉球石灰岩(武道棟及び展示棟の風除室)。 ・絨毯床面(展示棟) ②年2回実施。 ・ガラス面(道場棟及び展示棟)	現場の確認、委託契約書、清掃業務の報告書、指定管理者へのヒアリング等を実施。 定期清掃では、無垢木材にも配慮した方法で清掃が実施されている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好に実施されている。引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【環境衛生】 施設を安全に運用するために衛生設備の管理を徹底する。		○	【残留塩素測定】週1回 【飲料水貯水槽の清掃・点検】年1回 【空気環境の測定】年6回 【鼠・昆虫等の除去作業】年2回※夏、冬各1回ずつ 【水質検査】 ・飲料水、年1回 ・雑用水、年6回 。簡易専用水道、年1回(法定検査)	環境衛生業務の報告書、委託契約書、指定管理者へのヒアリング等を実施。環境衛生面では、委託事業者による定期点検が行われていることを確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	法定の基準のとおり、検査・清掃が実施されており、適正に対応している。引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。
【電気設備】 電気設備の点検等を実施し、管理を行う専門スタッフを配置する。		○	沖縄ビル管理(株)による空調点検を実施。	環境衛生業務の報告書、委託契約書、指定管理者へのヒアリング等を実施。環境衛生面では、委託事業者による定期点検が行われていることを確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。
【植栽管理】 園路・植栽管理について、植栽の状態を確認しながら適宜対応を行う。	○	○	毎月の除草作業及び委託業者による除草作業の実施を行う。	指定管理者へのヒアリング等を実施。植栽管理面では、植栽の状態を考慮した、指定管理者の対応と委託事業者による管理が行われていることを確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好に実施されている。引き続き施設内の植栽管理の徹底に努める。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>・開場時間については常駐スタッフを配置。</p> <p>・防犯、防災、出入管理だけでなく、防災機器の監視など事故・犯罪を未然に防ぎ、安全かつ快適な環境を提供する。</p>						
【開館日】		○	1名体制による警備を実施。 (午前8時半～午後5時15分、休憩1時間)	<p>指定管理者へヒアリング、警備日誌の確認を実施。</p> <p>・開館日及び閉館日の日中には警備員が常駐しており、夜間は室内センサーによる貴会警備が実施され、異常があった場合に警備員が急行する体制が構築されている。</p>	<p>報告書のとおり、適切に実施されている。</p>	<p>良好。 引き続き施設内の安全確保の徹底に努める。</p>
【閉館日】		○	常時1名体制による警備を実施。 (午前8時半～午後9時半)			
【夜間】		○	<ul style="list-style-type: none"> ・機械警備を実施。(午後9時半～翌8時半) ・夜間25時頃に巡回点検警備を実施。 			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>施設修繕は、早めの修繕を実施し、大規模修繕に繋がらない対応を行う。</p> <p>【修繕】 1件につき20万円未満の修繕については、指定管理者が実施。</p>		○	<ul style="list-style-type: none"> ・武道棟西側風除室外部ドア及び北側風除室内側自動ドアの修繕実施。 ・道場床の修繕。 ・防災垂れ壁動作不良の修繕実施。 ・資料室体験コーナー動作エラーの修繕実施。 ・防火シャッター電池取替修繕。 ・男性用トイレ修繕。 ・研修室網戸破れ修繕。 ・道場施設側GHP室外機の修繕。 ・特別道場内手洗い場修繕。 	<p>補修箇所を確認したほか、指定管理者へのヒアリング、修繕等施設管理業務の報告書等の確認を実施。</p>	<p>報告書のとおり、修繕等の対応が適正に実施されている。</p>	<p>良好。 今後とも、不具合等が発生した際には、迅速に対応し施設機能の維持に努める。</p>

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
	○		・空手マット破損による代替品購入。	破損箇所を確認したほか、指定管理者へのヒアリング、修繕等施設管理業務の報告書等の確認を実施。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好に実施されている。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
職員等による防犯、応急手当の訓練実施。	○		・道場棟／展示棟において、消防設備点検実施(6/15)。 ・道場棟における消防訓練を実施(6/17)。会議室より出火したことを想定し、来館者を駐車場へ避難誘導。	指定管理者へヒアリングを実施し、危機管理マニュアルの整備状況、消防署への報告書を確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 消防訓練が適切に実施されている。 引き続き、適切な防犯・防災対策に取り組むこと。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料金、観覧料の收受	○		【道場施設】 窓口にて職員が料金徴収を行った。 【展示施設】 券売機を設置し、両替対応及び領収書の発行等については受け塚カウンター職員が対応した。 【屋外鍛錬場、特別道場前庭、特別道場】 管理事務所窓口にて職員が料金徴収を行った。	券売機(道場施設入口、資料室入口)の設置、稼働状況、收受した現金の管理方法等を確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好に実施されている。 今後とも、不具合等が発生した際には、迅速に対応し施設機能の維持に努める。

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	維持管理業務について、適切に実施されている。今後も来館者が安全・安心に利用できるよう施設の適切な維持管理に努める。
--------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度($\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

			令和3年度実績	事業計画 (目標値)	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
						前年比	計画比	
利用者数	道場施設	道場 (共用利用)	0人	1,212人	8人	0.0%	0.7%	【道場施設】 目標値に対する達成率の平均は、84.5%となっている。(共用利用を除くと126.7%) 令和5年3月19日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数が利用者となる共用利用を中止しているが、専用利用に関しては前年度と比較し利用人数が若干名増加している。
		道場 (専用利用)	259団体	253団体	388団体	149.8%	153.4%	
		鍛錬室 (共用利用)	0人	422人	1人	0.0%	0.2%	
		鍛錬室 (専用利用)	874団体	810団体	903団体	103.3%	111.5%	
		研修室 (専用利用)	934団体	843団体	1,059団体	113.4%	125.6%	
		小会議室 (専用利用)	378団体	368団体	428団体	113.2%	116.3%	
	道場施設平均					79.5%	84.5%	
	展示施設	一般(個人)	2,051人	5,219人	2,790人	136.0%	53.5%	【展示施設】 ・目標値に対する達成率の平均は、76.5%となっている。 ・空手世界大会の開催に伴い、閲覧者数の増加に繋がった。
		一般(団体)	54人	827人	414人	766.7%	50.1%	
		高・大学生 (個人)	93人	338人	136人	146.2%	40.2%	
		高・大学生 (団体)	28人	55人	34人	121.4%	61.8%	
		小・中学生 (個人)	411人	759人	368人	89.5%	48.5%	
		小・中学生 (団体)	29人	327人	845人	2913.8%	258.4%	
		シルバー (65歳以上)	333人	2,544人	586人	176.0%	23.0%	
展示施設平均					621.4%	76.5%		
【評価基準 (①利用状況)】 目標値に対する達成率 S : 110%以上 A : 100%以上、110%未満 B : 80%以上、100%未満 C : 80%未満						評価(①利用状況)	S	※道場施設(専用利用)
						評価(①利用状況)	B	※道場施設(共用利用除く)
						評価(①利用状況)	C	※展示施設

2) 施設稼働率

(%)

	令和3年度実績	事業計画 (目標値)	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
稼働率(道場主要施設)	52.4		72.2	137.8		良好である。
施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。				評価(①利用状況)	S	

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
(開館日数) 休館日以外	・水曜日 ・12月30日～翌1月3日	指定管理者へのヒアリングのほか、月報により確認。	報告書のとおり適切に実施されている。 【臨時休館】 6/16、10/23 【開館時間変更】 4/29-5/5、5/7、8、14、15、18、28、29、8/1、3、4、6、8、9、11/15、27、翌1/9、22、2/4、5、18、19、3/11	良好に実施している。 引き続き、利用者への適切なサービス提供に努める。 休館日の臨時開館及び開館時間の変更については、引き続き条例に基づき適宜協議すること。
(開館時間) ・展示施設:9時～18時 ・上記以外:9時～21時	【展示施設】 9時～18時 【上記以外】 9時～21時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【専用利用】 随時、館内掲示、HPにて施設の空き状況を確認できるようにする。利用申請については、HP予約システムやFAX等にて受付を行う。支払いは前払いとしている。 【共用利用】 施設に空きがある場合は、随時受付を行う。少人数で気軽に利用する機会を提供する。実施にあたっては、安全性を確保した定員数及び基準の利用枠を設定し、HPにて空き状況を確認できるようにする。	○		【専用利用】 沖縄空手会館利用規程に基づき、公平に提供した。空き状況は予約システムから確認できるようにしている。申請受付は窓口だけでなく、HP予約システム、FAX及び電子メール等でも対応している。前払い制にて利用許可としている。 【共用利用】 事業計画のとおり対応した。	指定管理者へのヒアリングにより確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き、利用者への適切なサービス提供に努める。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
行政機関、関係団体、民間企業、マスコミ等との連携	○		新聞、ラジオ、雑誌等の様々な媒体にて27件の広報を実施した。	指定管理者へのヒアリングにより確認。	報告書のとおり適切に実施されている。	良好。 ターゲットとする幅広い年齢層に応じた広報を工夫するなど、効果的な広報に努める。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の漏洩、滅失及び棄損の防止、その他個人情報の適正管理に努める。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議を定期的実施し、懸念事項等を事前にチェックした。 ・施設予約状況の公開に際しては、催事主催者に対し公表の可否を事前に確認し、実施している。 ・個人情報を含む重要書類については金庫に保管している。また、廃棄する際はシュレッダー処理をしている。 	指定管理者へのヒアリングにより確認。	報告書のとおり適切に実施されている。	良好。 引き続き適切な情報管理に努める。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【レストラン】 ・収入 3,000千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄そばや空手大会利用者向けのケータリング、弁当販売等の実施 《収入実績》 8,149千円 《執行率》 272% 	指定管理者へのヒアリングにより確認	報告書のとおり適切に実施されている。	<p>新型コロナウイルス感染症防止対策等の影響により、利用者が減少していたが、徐々に利用率が上昇し、創意工夫により事業を実施し、計画を大幅に上回った。引き続き、各事業において施設利用者の利便性の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストラン事業においては、空手大会が実施されたこともあり、収益が上がった。また、新メニュー開発やLINEにてクーポン配布等を実施。リピーター獲得に力を入れた。 ・自主事業のセミナーや教室では、瓦割り体験の利用が多数あった。また、催事における弁当販売や会場設営撤去サービスの利用もあった。 ・売店事業では、新型コロナウイルス感染症防止対策等の影響により休業せざるを得なかったが、オンラインストアを強化し、収益率は計画を大幅に上回った。 ・空手体験プログラムでは、年度計画には及ばないものの、問合せ、予約ともに前年度より増加した。
【その他】 ・収入 822千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の空手関係等のセミナーやコース型教室の実施 《収入実績》 7,677千円 《執行率》 934% 			
【売店】 ・収入 1,300千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年9月より休業(令和5年4月13日より再開) ・レストランや道場施設窓口にて販売を継続するほか、空手会館HP内のオンラインストアにおける販売促進に力を入れた。 《収入実績》 5,069千円 《執行率》 390% 			
【空手体験プログラム】 ・収入 200千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムへの問合せや個人及び団体の予約が増加した。 《収入実績》 188千円 《執行率》 94% 			

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	運営業務については、感染症対策のガイドラインの変化に柔軟に対応し、施設利用の活性化、効果的な広報活動、アンケート結果等を踏まえたアフターフォローを行うことにより、利用者満足度の向上に取り組む。 自主事業については、安定的に運営ができるようサービス内容の改善・向上に取り組み、利用者の利便性向上等に取り組む。引き続き、施設利用の促進に努める。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度($\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

			令和3年度実績	事業計画 (目標値)	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
						前年比	計画比	
利用者数	道場施設	道場 (共用利用)	0人	1,212人	8人	0.0%	0.7%	【道場施設】 目標値に対する達成率の平均は、84.5%となっている。(共用利用を除くと126.7%) 令和5年3月19日まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不特定多数が利用者となる共用利用を中止しているが、専用利用に関しては前年度と比較し利用人数が若干名増加している。
		道場 (専用利用)	259団体	253団体	388団体	149.8%	153.4%	
		鍛錬室 (共用利用)	0人	422人	1人	0.0%	0.2%	
		鍛錬室 (専用利用)	874団体	810団体	903団体	103.3%	111.5%	
		研修室 (専用利用)	934団体	843団体	1,059団体	113.4%	125.6%	
		小会議室 (専用利用)	378団体	368団体	428団体	113.2%	116.3%	
	道場施設平均					79.5%	84.5%	
	展示施設	一般(個人)	2,051人	5,219人	2,790人	136.0%	53.5%	【展示施設】 ・目標値に対する達成率の平均は、76.5%となっている。 ・空手世界大会の開催に伴い、閲覧者数の増加に繋がった。
		一般(団体)	54人	827人	414人	766.7%	50.1%	
		高・大学生 (個人)	93人	338人	136人	146.2%	40.2%	
		高・大学生 (団体)	28人	55人	34人	121.4%	61.8%	
		小・中学生 (個人)	411人	759人	368人	89.5%	48.5%	
		小・中学生 (団体)	29人	327人	845人	2913.8%	258.4%	
		シルバー (65歳以上)	333人	2,544人	586人	176.0%	23.0%	
展示施設平均					621.4%	76.5%		

【評価基準 (①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

評価(①利用状況)	S	※道場施設(専用利用)
評価(①利用状況)	B	※道場施設(共用利用除く)
評価(①利用状況)	C	※展示施設

2) 施設稼働率

(%)

	令和3年度実績	事業計画 (目標値)	令和4年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
				前年比	計画比	
稼働率(道場主要施設)	52.4		72.2	137.8		良好である。

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)	S
-----------	---

【評価基準 (①利用状況)】
 目標値に対する達成率
 S : 110%以上
 A : 100%以上、110%未満
 B : 80%以上、100%未満
 C : 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
(開館日数) 休館日以外	・水曜日 ・12月30日～翌1月3日	指定管理者へのヒアリングのほか、月報により確認。	報告書のとおり適切に実施されている。 【臨時休館】 6/16、10/23 【開館時間変更】 4/29-5/5、5/7、8、14、15、18、28、29、8/1、3、4、6、8、9、11/15、27、翌1/9、22、2/4、5、18、19、3/11	良好に実施している。 引き続き、利用者への適切なサービス提供に努める。 休館日の臨時開館及び開館時間の変更については、引き続き条例に基づき適宜協議すること。
(開館時間) ・展示施設:9時～18時 ・上記以外:9時～21時	【展示施設】 9時～18時 【上記以外】 9時～21時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【専用利用】 随時、館内掲示、HPにて施設の空き状況を確認できるようにする。利用申請については、HP予約システムやFAX等にて受付を行う。支払いは前払いとしている。 【共用利用】 施設に空きがある場合は、随時受付を行う。少人数で気軽に利用する機会を提供する。実施にあたっては、安全性を確保した定員数及び基準の利用枠を設定し、HPにて空き状況を確認できるようにする。	○		【専用利用】 沖縄空手会館利用規程に基づき、公平に提供した。空き状況は予約システムから確認できるようにしている。申請受付は窓口だけでなく、HP予約システム、FAX及び電子メール等でも対応している。前払い制にて利用許可としている。 【共用利用】 事業計画のとおり対応した。	指定管理者へのヒアリングにより確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き、利用者への適切なサービス提供に努める。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
行政機関、関係団体、民間企業、マスコミ等との連携	○		新聞、ラジオ、雑誌等の様々な媒体にて27件の広報を実施した。	指定管理者へのヒアリングにより確認。	報告書のとおり適切に実施されている。	良好。 ターゲットとする幅広い年齢層に応じた広報を工夫するなど、効果的な広報に努める。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の漏洩、滅失及び棄損の防止、その他個人情報の適正管理に努める。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議を定期的実施し、懸念事項等を事前にチェックした。 ・施設予約状況の公開に際しては、催事主催者に対し公表の可否を事前に確認し、実施している。 ・個人情報を含む重要書類については金庫に保管している。また、廃棄する際はシュレッダー処理をしている。 	指定管理者へのヒアリングにより確認。	報告書のとおり適切に実施されている。	良好。 引き続き適切な情報管理に努める。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【レストラン】 ・収入 3,000千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄そばや空手大会利用者向けのケータリング、弁当販売等の実施 《収入実績》 8,149千円 《執行率》 272% 	指定管理者へのヒアリングにより確認	報告書のとおり適切に実施されている。	<p>新型コロナウイルス感染症防止対策等の影響により、利用者が減少していたが、徐々に利用率が上昇し、創意工夫により事業を実施し、計画を大幅に上回った。引き続き、各事業において施設利用者の利便性の向上に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストラン事業においては、空手大会が実施されたこともあり、収益が上がった。また、新メニュー開発やLINEにてクーポン配布等を実施。リピーター獲得に力を入れた。 ・自主事業のセミナーや教室では、瓦割り体験の利用が多数あった。また、催事における弁当販売や会場設営撤去サービスの利用もあった。 ・売店事業では、新型コロナウイルス感染症防止対策等の影響により休業せざるを得なかったが、オンラインストアを強化し、収益率は計画を大幅に上回った。 ・空手体験プログラムでは、年度計画には及ばないものの、問合せ、予約ともに前年度より増加した。
【その他】 ・収入 822千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業の空手関係等のセミナーやコース型教室の実施 《収入実績》 7,677千円 《執行率》 934% 			
【売店】 ・収入 1,300千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年9月より休業(令和5年4月13日より再開) ・レストランや道場施設窓口にて販売を継続するほか、空手会館HP内のオンラインストアにおける販売促進に力を入れた。 《収入実績》 5,069千円 《執行率》 390% 			
【空手体験プログラム】 ・収入 200千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムへの問合せや個人及び団体の予約が増加した。 《収入実績》 188千円 《執行率》 94% 			

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案	運営業務については、感染症対策のガイドラインの変化に柔軟に対応し、施設利用の活性化、効果的な広報活動、アンケート結果等を踏まえたアフターフォローを行うことにより、利用者満足度の向上に取り組む。 自主事業については、安定的に運営ができるようサービス内容の改善・向上に取り組み、利用者の利便性向上等に取り組む。引き続き、施設利用の促進に努める。
-----------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度($\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

II. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法	利用者に対し、窓口にて依頼		回答者数	208	アンケート内容	別紙参照
評価項目	第三者(利用者等)評価				指定管理者	現状分析・課題
	令和3年度評価	令和4年度目標	令和4年度評価			
維持管理業務	施設・設備管理(備品の充実度) 〈満足度〉72.2%(※1) ・とてもよい 38.9% ・よい 33.3% ・普通 17.5% ・よくない 0.0% ・不満 0.0% 今回は利用していない 9.5%	〈満足度〉	〈満足度〉64%(※1) ・とてもよい 37.8% ・よい 26.2% ・普通 11.6% ・よくない 0.0% ・不満 0.0% 今回は利用していない 24.4%	C	備品の維持管理を引き続き行う。	・満足度が昨年度より減少した。 ・利用者からは、備品の数の充実を求める意見がある。今後施設の利用状況に応じた対応が必要である。
運営業務	利用条件(利用した感想) 〈満足度〉85.6%(※1) ・非常に利用しやすい 50.7% ・利用しやすい 34.9% ・普通 13.8% ・あまり使い勝手が良くない 0.7%	〈満足度〉	〈満足度〉85.8%(※1) ・非常に利用しやすい 54.3% ・利用しやすい 31.5% ・普通 14.1% ・あまり使い勝手が良くない 0.0%	A	満足度が85%を超えた。	・満足度が8割を超え、施設や設備への評価が高い。 ・今後も利用しやすい施設として、ニーズに応じた運営を行う。
	利用条件(利用手続き) 〈満足度〉78.9%(※1) ・とてもよい 45.2% ・よい 33.7% ・普通 21.2% ・あまりよくない 0.0% ・良くない 0.0%	〈満足度〉	〈満足度〉76.7%(※1) ・とてもよい 42.1% ・よい 34.6% ・普通 23.4% ・よくない 0.0%	B	満足度が昨年度より若干減少したものの、引き続き75%を超えている。	・従来、窓口や電話等での予約受付としていたが、空手会館HPのWEBシステムを導入し、利便性の向上を図っている。 ・引き続き、利用者の意見を反映させた運営を行う。
自主事業(レストラン)	〈満足度〉65.3%(※1) ・満足 44.2% ・ほぼ満足 21.1% ・普通 34.7% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%	〈満足度〉	〈満足度〉77.4%(※1) ・満足 56.6% ・ほぼ満足 20.8% ・普通 22.6% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%	B	・道場施設の利用者がレストランを利用している。	・満足度が前年度より10%増加した。 ・一つの施設から各施設を利用いただける工夫をすることで、各施設利用者や売上等の向上を図る。
自主事業(売店)	〈満足度〉50%(※1) ・満足 38.9% ・ほぼ満足 11.1% ・普通 48.1% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%	〈満足度〉	〈満足度〉53.4%(※1) ・満足 36.2% ・ほぼ満足 17.2% ・普通 46.6% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%	C	・新型コロナウイルス感染症防止対策に伴い、臨時休業をされており、一部商品を事務所にて取り扱っていた。	・営業再開が、令和5年4月中旬頃であったが、それまでに空手会館オンラインストアの充実に力を入れており、収益が増加している。 ・外国人利用者の一度の購入による利益が増加し、全体的な収入増に繋がっている。
			〈改善要望〉 ・もっと机の数を増やして欲しい ・スリッパが欲しい ・十分だと思う			
			〈改善要望〉 ・空調が付いていて嬉しい。 ・広々使える。 ・トイレが清潔。 ・駐車場が無料で使いやすい。 ・スタッフの案内が丁寧。			
			〈改善要望〉 ・自宅で予約が取れるので、手続きが楽。 ・スタッフが丁寧に教えてくれた。 ・ネットがわからないのでいつも窓口で手続きしている。			
			〈改善要望〉 ・PayPayが使えて便利。 ・店内が清潔。 ・スタッフの対応が良い。			
			〈改善要望〉 ・色々な種類のお土産が欲しい。 ・子供用の服があると良い。			

総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉75.5%※	〈満足度〉	〈満足度〉71.5%	評価 (②満足度)	・新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、施設の利用制限等を行わざるを得ない状況であったが、海外からの施設利用も増加し、増収につながっている。 ・満足度は前年度より減少しているが、一定の高評価を得ている。 ・引き続き利用者のニーズへの対応と、利便性の向上を図る。 ・インバウンドや、空手関係以外のイベントの招致による利用者の増加が見られるため、引き続き工夫を行う必要がある。
				B	

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準 (②満足度)】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
各評価項目においてはそれぞれの満足度

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

II. サービスの質の確認・評価 取組改善案	施設の利用における満足度については全体的に高い評価を得ている。特にレストランについては、新規メニューの開始などの工夫により満足度が前年比で10%も増加している。満足度の低い設備・備品の充実度、売店などについては、利用者の意見やニーズを踏まえて改善等を行い、利便性の向上を図る。引き続き、アンケートを実施し、ニーズの把握に努める。 (なお、売店は、令和5年4月から店舗販売を再開している。)
---------------------------	---

※「II. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度($\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

III. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		令和3年度 実績	令和4年度 事業計画(当初)	事業計画 (変更後)	令和4年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
利用料金 収入	道場施設	10,799	12,334		14,851	137.5	120.4	
	展示施設	472	2,120		1,017	215.5	48.0	
計		11,271	14,454		15,868	140.8	109.8	
指定管理料		58,026	58,026		60,105	103.6	103.6	
自主事 業収入	レストラン	4,399	3,000		8,149	185.2	271.6	
	売店	3,785	1,300		5,069	133.9	389.9	
	空手体験プログラム	0	200		188	0	94	
	その他(セミナー等)	834	822		7,677	920.5	933.9	
計		9,018	5,322		21,083	233.8	396.1	
その他		12,670	153		11,745	93	7676.5	自販機電気料等
その他 計		12,670	153		11,745	92.7	7,676.5	
合計(A)		90,985	77,955		108,801	119.6	139.6	

(現状分析・課題)

沖縄空手世界大会やその他兼関連の行事の開催により、利用料金の収入に繋がった。自主事業では、新メニューの開発やLINEを活用したクーポン等の配布によるリピーター獲得への工夫をしたほか、空手会館グッズの販売にてオンラインストアの充実を図り、新型コロナウイルス感染症対策による売店の休業期間中にもかかわらず、増収に繋がった。

(2) 支出

支出項目	令和3年度 実績	令和4年度 事業計画(当初)	事業計画 (変更後)	令和4年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)
人件費	24,247	17,602		21,724	89.6	123.4	給与・諸手当等含む
修繕費	428	100		391	91.4	391.1	
光熱水費	13,557	14,949		17,921	132.2	119.9	
委託費・管理費	36,842	39,000		40,169	109.0	103.0	
交際費	100	1		139	139.0	13900.0	
消耗品費	2,453	1,137		1,278	52.1	112.4	
広報宣伝費	55	205		1,459	2,652.7	711.7	
旅費交通費	404	205		126	31.2	61.5	
賃借料(リース)	3,033	2,635		3,007	99.1	114.1	
減価償却費	1,079	0		2,125	196.9	0.0	
印刷製本費	380	465		426	112.1	91.6	
通信運搬費	785	161		779	99.2	483.9	
商品仕入れ費	3,577	0		12,677	354.4	0.0	
雑費	134	153		36	26.9	23.5	
保険料	327	235		343	104.9	146.0	
購読費	0	0		0	0.0	0.0	
支払手数料	300	118		3,142	1,047.3	2662.7	
謝金	444	0		3,053	687.6	0.0	
諸会費	15	0		10	66.7	0.0	
寄付	45	0		92	204.4	0.0	
公租公課	2,325	1,128		2,197	94.5	194.8	消費税込み
合計(B)	90,532	77,955		111,093	122.7	142.5	

(現状分析・課題)

令和4年8月以降に社会情勢の悪化に伴い光熱費等の物価上昇があり、経営圧迫の要因となった。(なお、前年比増の広告費、商品仕入れ費及び支払い手数料に関してはコスト増となっているが、収益増に繋がるものであり、経営圧迫の要因とはなっていない。)

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

IV. 総合評価

1. 目標

評価項目	評価指標	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数 155,000人	164,000人	173,000人	182,000人	—
	②満足度	満足度 90%	90%	90%	90%	—
財務指標	③財務状況	収益率 0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	—

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和3年度実績	令和4年度事業計画(目標値)	令和4年度実績	現状分析・課題		評価(点数)	取組改善案	令和5年度目標値
					前年比	計画比			
成果指標	①利用状況	利用者数 74,518人	155,000人	68,530人	92.0%	44.2%	C (-10)	コロナ禍において、感染症対策の徹底、ターゲット層に応じた各種メディアにおける広報などに取り組み、集客を図る。	164,000人
	②満足度	満足度 75.5%	90%	71.5%	94.7%	79.4%			
財務指標	③財務状況	収益率 0.5%	0.3%	-2.1%	-420.0%	-700.0%	B (0)	事業の継続性を確保する観点から、事業収支の改善を図る。	0.3%
活動指標	④重点取組事項 自主事業(売店・レストラン)	【満足度】 総合 65.3% ・満足 44.2% ・ほぼ満足 21.1% ・普通 34.7% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%	—	【満足度】 総合 77.4% ・満足 56.6% ・ほぼ満足 20.8% ・普通 22.6% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%	118.5%	—	0	・引き続き、イベント開催による誘客や売店及びオンラインストアの利便性向上を図る。 ・指定管理者としての強みを活かした運営を継続して行う。	95%

総合評価	コロナウイルス感染症等の社会情勢の悪化を伴う利用者への影響や光熱水費の高騰によるコスト増などのマイナス要因が多く、評価が低くなっているが、想定外の事態に対して、できる限りの対応を行う努力をしている。収益に関して、オンラインストアを充実させるほか、自主事業への取り組みにも力を入れており、今後は人流再開による県外・国外からの観光客等の来館者増を見据え、より充実した運営を行う必要がある。	C (-10)
------	--	------------

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」はⅠ～Ⅲから転記する。

※「α+1年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

②満足度

総合評価における満足度(各評価項目の平均値)

S : 90%以上

A : 80%以上、90%未満

B : 70%以上、80%未満

C : 70%未満

③財務状況

収益率(事業収支/収入合計)

A : 0%以上

B : -5%以上、0%未満

C : -5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

S : 目標を大きく上回る

A : 目標を概ね達成

B : 目標を下回る

C : 目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

	総合評価基準
S	40点以上 かつ各評価項目において C評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

2. 経営分析指標

評価指標	令和3年度実績	令和4年度事業計画(当初)	事業計画(変更後)	令和4年度実績	前年比(%)	計画比(%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	453千円	0千円		2,291千円	-5.06	0.0%	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(B))	0.5%	0.0%		-2.1%	-423.1%	0.0%	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	12.4%	18.5%		14.6%	117.7%	78.7%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	26.8%	22.6%		19.6%	73.0%	86.6%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	40.7%	50.0%		36.2%	88.9%	72.3%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	759.9円	654.3円		932.5円	122.7%	142.5%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	487.0円	487.0円		504.5円	103.6%	103.6%	

(現状分析・課題)

社会情勢の悪化による原油価格の高騰など、光熱水費が経費を圧迫し赤字となったが、利用料金の見直し(100/100→130/100)や自主事業における収入増への取り組みを行い改善を図った。運営については都度見直しを行い、引き続き改善に努める。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	B
-----------	---

<p>【評価基準 (③財務状況)】</p> <p>収益率 (事業収支/収入合計)</p> <p>A : 0%以上</p> <p>B : -5%以上、0%未満</p> <p>C : -5%未満</p>

III. 財務状況の確認・評価 取組改善案	各事業での経費等の見直しやコロナ禍での収益確保の工夫等を行い、事業全体として収支均衡に向けた取り組みを図る。また、施設利用者の利便性向上等に励みながら、効果的な宣伝PRを通して誘客に努める。
--------------------------	---

※「III. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

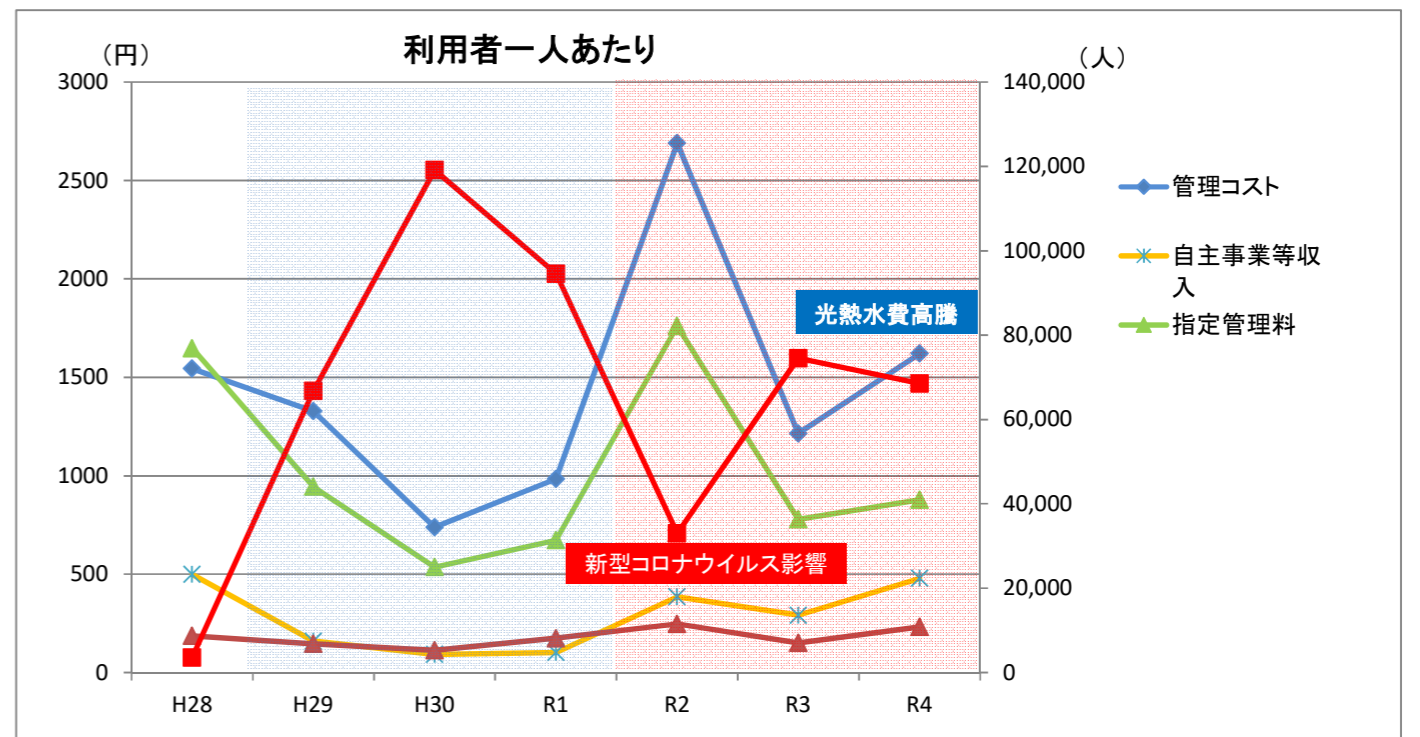
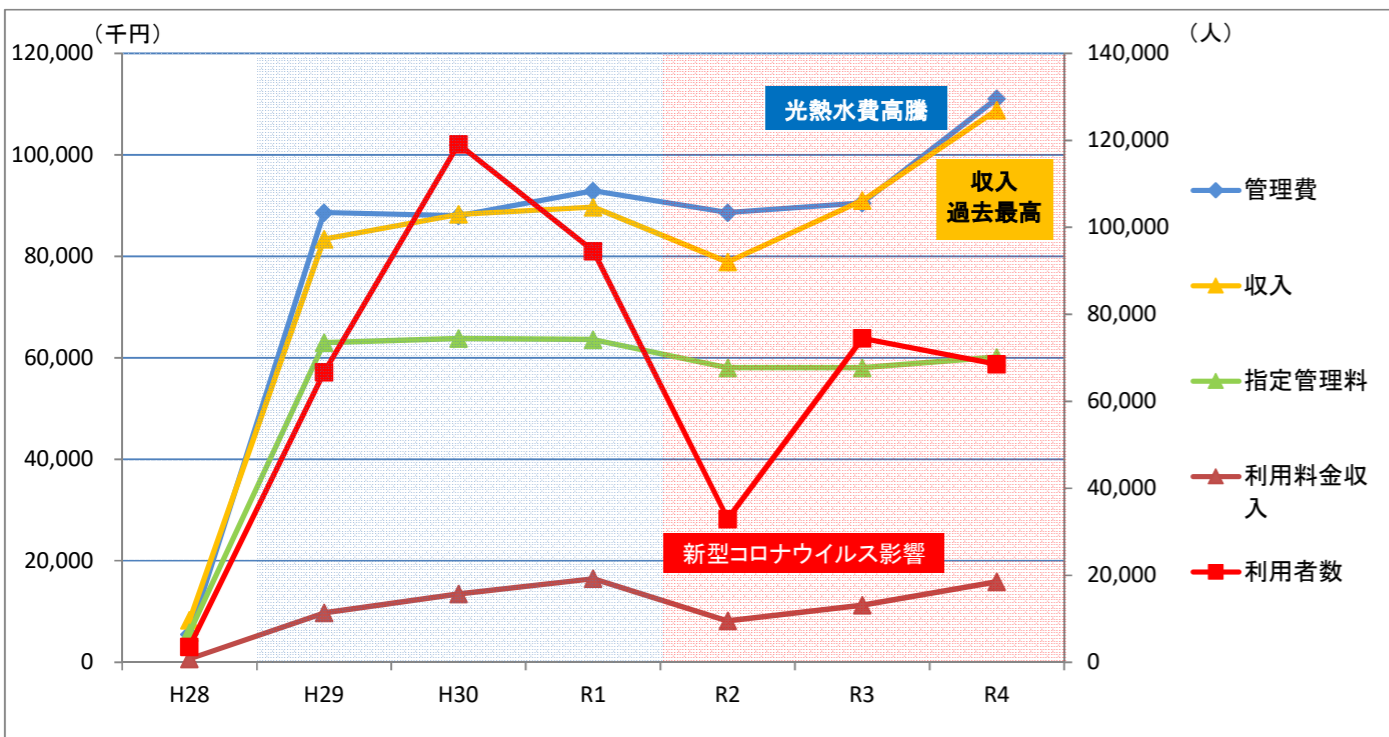
評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置が確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

経営状況分析シート【施設名称: 沖縄空手会館】

指標		単位	直営														指定管理							
			H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
成果指標	利用者数	目標	人																					
		実績	人											3,560	66,730	119,140	94,561	32,965	74,518	68,530				
		目標比	%											-	-	100.1%	73.9%	24.1%	51.0%	44.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		H17比	%											5%	100%	179%	79.4%	34.9%	226.1%	92%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
財務指標	指定管理料	千円																						
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%																						
	利用料金収入	千円																						
	利用料金比率(利用料金収入/収入計)	%																						
	収入計	千円																						
	管理費計	千円																						
	収支	千円																						
/単位	収益率(収支/収入計)	%																						
	一人あたり管理コスト	円																						
	一人あたり自主事業収入	円																						
	一人あたり指定管理料	円																						
	一人あたり利用料金収入	円																						

※沖縄空手会館 供用開始
平成29年3月4日～

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。



実績変動の要因分析

令和4年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための規制が緩和され、利用者数増となったことから利用料金は回復傾向、自主事業を含む収入は大幅増(過去最高額)となった。一方、光熱水費増の影響が大きく、収支は赤字となっている。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の一部利用制限等の影響により、利用者数が伸び悩んだ。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の一部利用制限等の影響により、利用者数が大幅に減少した。
令和元年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の一部利用制限を行ったため、利用者数が減少した。